

〈四日市公害を忘れないために市民の集い 2025〉

～澤井余志郎さん没後 10 年 「記録」 することの意義を学ぶ～

主催：四日市市 企画：四日市再生「公害市民塾」 入場無料

2025 年 **7 月 20 日(日)** 13:00 開場 13:30 開始

会場：そらんぽ(四日市公害と環境未来館・博物館)1 階 講座室



(澤井さん 2012 年 2 月)

講演：澤井余志郎さんと「公害記録」

講師：辻 智子さん (北海道大学大学院教育学研究院教授)

著書：『繊維女性労働者の生活記録運動』(北海道大学出版会)
解説：『紡績女子工員生活記録集』(日本図書センター)



四日市公害を記録し貴重な資料を残してくれた澤井余志郎さんが、亡くなった 2015 年 12 月から間もなく 10 年となります。四日市公害と環境未来館の開館と同じ年、開館 9 か月後に亡くなりました。館内では今もその写真や証言映像で、私たちに「記録」することの大切さを伝え続けてくれています。

澤井さんがいかにして「記録」にこだわるようになったのか。そこには前史ともいえるべき紡績工場での生活記録運動がありました。「みたまま・きいたまま」を

13:30 澤井さんを偲んで
(四日市再生「公害市民塾」)

14:00 講演 辻智子さん

15:00 質疑応答 意見交換

15:30 展示資料の紹介

終了予定 16:30

記録し、語り継いでいくことの重要性をそこで発見したともいえます。そのことが膨大な四日市公害の記録へとつながったのです。青空を取り戻すための強力な手段となったのです。

今回は、長年にわたって澤井さんと親交があり、生活記録の調査研究を続けてみえる研究者・辻智子さんをお迎えし、澤井さんの業績を振り返りながら「記録」することの意義を学びなおしたいと思います。

(辻さんの経歴を裏面に紹介しました。)

●事前申し込みが必要です(60 名程度) 締め切りは 7 月 10 日必着

【申し込み方法】

ホームページ、Fax、E-mail、または館内図書カウンターで、下記の内容をご記入の上、お申し込み下さい。

①講座名「公害と記録」②代表者名③住所④電話番号⑤年齢⑥グループの場合は参加者全員の名前
※お送りいただいた個人情報は、四日市公害と環境未来館の事業以外には使用いたしません。



四日市公害と環境未来館 〒510-0075 四日市市安島一丁目3-16

【TEL】059-354-8065 【FAX】059-329-5792

【E-mail】kougai-kankyomiraikan@city.yokkaichi.mie.jp

【ホームページ】<https://www.city.yokkaichi.mie.jp/yokkaichikougai-kankyomiraikan/>

【開館時間】9 時 30 分～17 時 00 分

【休館日】月曜日(祝休日の場合は翌平日)



入力フォーム

【講師紹介】

●以下の紹介文は辻智子さんご自身にまとめていただきました。

1971 年、神奈川県生まれ。大学の卒業論文に取り組む中で、『母の歴史』（河出書房新社、1954 年）等と出会う。鶴見和子さんから澤井余志郎さんを紹介いただき、それ以後（1993 年以降）、澤井さんを含む「生活を記録する会」（四日市の東亜紡織泊工場から生まれた生活記録サークル）の皆さんとのおつきあいが始まる。「生活を記録する会」の文集・通信の復刻出版にあたり編集と解説を担当した（『紡績女子工員生活記録集』日本図書センター、第 1 巻～第 7 巻：2022 年、第 8 巻～第 12 巻：2008 年）。

2013 年に北海道大学教育学部に着任。同年（2015 年）3 月、開館して間もない四日市公害と環境未来館を「生活を記録する会」の皆さんとともに澤井さんに案内していただきながら見学。2015 年 11 月、『繊維女性労働者の生活記録運動—1950 年代サークル運動と若者たちの自己形成』（北海道大学出版会）を刊行。

